

○全国高等専修学校協会 定例総会を開催

6月10日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国高等専修学校協会令和3年度定例総会をオンラインハイブリッド開催。出席者は87名（委任状を含む）。清水信一会長が開会あいさつを述べ、議長には理事会の推薦候補者である神奈川県岩谷大介理事を選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に北海道の柏尾典秀理事と長野県の山岸建文理事を選出して議事に入った。

【第1号議案 令和2年度事業報告】

【第2号議案 令和2年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案について一括審議を行った。第1号議案では、配布資料に基づき、事務局が会議・研修会の開催、委員会活動、体育大会、広報活動等について説明。第2号議案では、配布資料に基づき、事務局が各科目の内容を説明し、石川正剛監事が全て適正であると監査報告を行った。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第3号議案 令和3年度事業計画案】

【第4号議案 令和3年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案については一括審議を行った。第3号議案については、配布資料に基づき清水会長が運動方針について説明。前年度より続き新型コロナウイルス感染症への対策として、「情報公開」を適切に行うことにより、一条校との格差是正に一層取り組む。高等専修学校の社会的認知度を高めるため、協会として文部科学省の刊行した「未来をひらく高等専修学校」パンフレットの増刷と会員校への配布を通じた、全国の中学校等への普及啓発活動を維持する。また体育大会の参加には、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の加入を義務化し、更なる加入促進を図っているが、主催者として、昨年度に引き続き感染症対策に留意し実施する。文部科学省委託事業（「チーム高等専修学校」）を契機に、各都道府県の助成金の確保・充実を目指す。続く活動方針については、事務局の説明に補足する形で関谷豊副会長・高等専修学校総務委員長が協会運営、大岡豊副会長・制度改善研究委員長が調査研究活動、岡部隆男副会長・研修委員長が研修会の開催、福田潤体育振興委員長が体育大会の開催など各委員会活動方針を説明。第4号議案については、配布資料に基づき事務局が各科目の内容を説明した。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第5号議案 役員改選】

第5号議案について、配布された令和3年度理事・監事名簿（案）をもとに、清水会長より説明。通常役員改選は2年ごとに行われ、昨年度の令和2年度総会時に行われたため次回役員改選は令和4年度総会時とされているものの、令和2年度末をもって谷誠前副会長・体育振興委員長及び前川悟理事が退任されたため、大竹嘉明先生（東京：大竹高等専修学校）及び岡崎泰道先生（大阪：東朋高等専修学校）の2名の理事就任について、提案された。また続けて令和3年度役員名簿（案）をもとに、清水会長より、当会規約に基づき令和3年度4月に就任の福田潤理事・体育振興委員長の副会長就任について、説明し、提案された。加えて、令和2年度末をもって小川明治アドバイザーが退任されたことが報告された。以上3名の退任報告とともに、2名の理事信任及び1名の副会長信任を問う本議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第 6 号議案 規約改正】

第 6 号議案について、事務局が理事及び監事の役員就任延齢の制限を現在の満 70 歳以下から、全専各連会則改正に合致させる形で満 75 歳以下へと改正する改正案につき経緯を説明・報告。本議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

以上により、議長が全議案を原案どおり承認されたことを確認し、全日程を終了した。